## 災害に対する寒川浄水場の取組み

### 災害を経験して

昭和61年3月23日に相模川沿いの地域では、季節外れの大雪により鉄塔が倒壊して大停電が発生しました。このため、寒川浄水場では約２日間水道水を作ることも、送り出すこともできなくなり、お客さまには１週間程度ご迷惑をおかけしました。

この経験から昭和62年度に、第2浄水場に非常用予備発電機を設置し、東日本大震災に伴う計画停電時には、この非常用予備発電機が活躍して、お客さまに水道水をお届けすることができました。また、この計画停電を契機に第3浄水場にも非常用予備発電機を設置し、停電時でもより安定して水道水をお届けできることが可能になりました。

### いつでもお届けするために

寒川浄水場は、将来を見据えて、今まで以上に災害に強い浄水場となるため、耐震化や災害対策に取り組み、いつでもお客さまに安心で安全なおいしい水道水をお届けします。

### 水道水を作り続けて80年

県営水道創設期（昭和11年4月）に完成した寒川浄水場は、今年で80歳。生まれてからずっと、お客さまに水道水をお届けするために頑張っています。

ぜひ、6月5日（日）10時から15時まで開催する「施設開放デー」にご来場いただき、寒川浄水場を体感してください。

寒川浄水場 非常用予備発電機

寒川浄水場

寒川浄水場 送水ポンプ

## おしえてカッピー　非常用予備発電機のこと

ぼく、カッピーです。今日は、寒川浄水場の電機課（でんきか）にやってきました。
どんなお仕事をしているのかな？
非常用予備発電機のことを、電機課のみなさん、ぼくにおしえてくださーい！

**電機課(以下、電)**：カッピー、いらっしゃい。電機課は、いつでも水道水を作って送り出すために、浄水場の心臓である「送水ポンプ」や災害時でも浄水場を動かす「発電機」など、浄水場内のさまざまな電気設備・機械設備を維持管理しているんだ。でも停電になるとみんな止まってしまうんだ。その時活躍するのが非常用予備発電機なんだ。

**カッピー(以下、カ)**：電機課は浄水場を守っているんだね！

**電**：よーし、カッピーもこれをつけて、非常用予備発電機の点検を体験してみようか！

**カ**：わーい。かっこいい！これは何？

**電**：発電機は大きな音が出るから、防音ヘッドホンだ。さあ、行こう。

**カ**：大きい建物だね。これが発電機なの？

**電**：そうだよ。発電機以外にも、燃料タンクや電気・機械設備がつながった設備なんだ。
よし、起動するぞ！

**カ**：あれ、飛行機の音？うわー、音がどんどん大きくなってきた。

**電**：飛行機のエンジンで発電しているからね。さあ、大きな声で点検だ。潤滑油の圧力　ヨシ！

**カ**：潤滑油の圧力　ヨシッ！

**電**：潤滑油の温度　ヨシ！　**カ**：潤滑油の温度　ヨシッ！

**電**：排気の温度　ヨシ！　**カ**：排気の温度　ヨシッ！

**電**：いいぞ、カッピー。発電機の点検が終わったら、送水ポンプの点検に行こう。

**電**：カッピーおつかれさま。仕事を体験してみてどうだったかな？

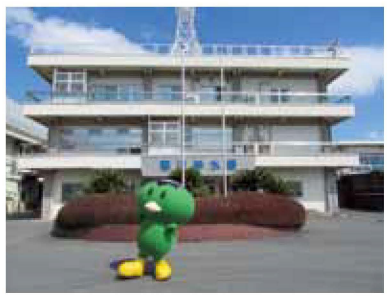
**カ**：楽しかったけど、大きい音の中や、浄水場中を点検するのは大変だった。でも、電機課の皆さんがいつも浄水場を守ってくれているから、ぼく達がいつでも安心して水道水を使えるのがわかったよ！

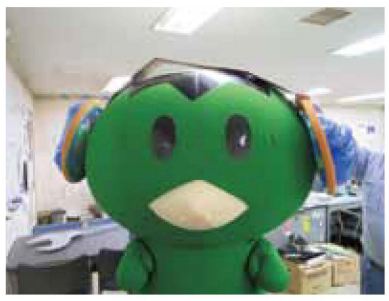
**電**：ありがとうカッピー。水道水のために1つお願いしてもいいかな？

**カ**：もちろん。どんなことですか？

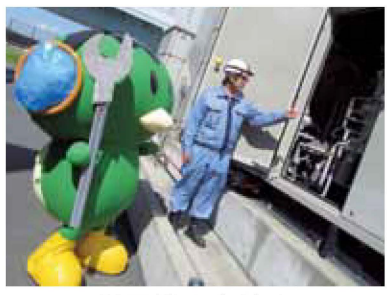
**電**：それは、川を汚さないこと。汚れると水道水だけじゃなく、浄水場の施設にも影響が出てしまうんだ。

**カ**：わかりました！お友だちにもおしえてあげるよ！これからも、お仕事がんばってください。
今日はありがとうございました。


寒川浄水場


防音ヘッドホンを装着

非常用予備発電機（内部）


発電機の点検中

**神奈川県営水道 給水区域**

相模原市（一部の地域を除く）、鎌倉市、逗子市、葉山町（一部の地域を除く）、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町、平塚市（一部の地域を除く）、小田原市（一部）、大磯町、二宮町、厚木市、伊勢原市、愛川町（一部）、海老名市、綾瀬市、大和市、箱根町（一部）

Facebook

インターネットで県営水道のページ情報や役立ち情報を発信中です。「しらべて」お待ちしています。